

大分市では、被災した佐賀関の復興計画の策定について、地域のみなさんとともに進めていきたいと考えております。

この「佐賀関復興だより（1号）」では、令和8年4月12日に開催した、地区別意見交換会の結果をお届けいたします。

今後も、意見交換会を開催いたしますので積極的なご参加をお願いいたします。

「第1回 復興のための地区別意見交換会」を開催しました

意見交換会の概要

第1回となる今回の意見交換会では、復興計画の策定に向けて、計画範囲での道路配置の考え方をお示しして地域のみなさんと意見交換を行ったほか、復興市営住宅の案をお示しして質疑応答を行いました。

地区別意見交換会プログラム

- ・ 開会
- ・ 佐賀関地域の復興計画について
(各テーブルでの意見交換)
- ・ 復興市営住宅の概要について
(質疑応答)
- ・ 市からのお知らせ

開催日時： 令和8年4月12日（日）

10：30～16：30

（地区別に開催）

開催場所： 佐賀関市民センター

参加者： 142名



会場の様子



会場の様子



各テーブルで意見を出し合っ、図面に意見を貼っていきました

意見交換会での主なご意見

地域の文化、伝統、コミュニティ

- ・ ご近所さんたちとのつながりを維持していきたい
- ・ 神社の祭り、盆踊り、神輿などの伝統行事が地域の誇り
- ・ 公民館が古いため、行きやすく、使いやすい場所に建ててほしい
- ・ 高齢化で行事が続けられるか心配

防災、安全対策、避難路の確保

- ・ 津波が不安なので、高台への避難道路が欲しい
- ・ 津波や土砂災害が不安である
- ・ 地区に避難所を追加してほしい

生活道路、交通安全性

- ・ 道路が狭く、車の離合が難しい
- ・ 日陰となる街路樹等を作ってくれれば嬉しい

住宅再建、復興市営住宅

- ・ 暮らし方の違いに不安があるため、戸建ての復興市営住宅を希望したい
- ・ 土地や道路がどうなるか分からないため、家を建てたいが準備できない
- ・ 希望した人がちゃんと入居できるように準備してほしい
- ・ 復興市営住宅への申込時期が5月というのは早すぎる
- ・ 復興市営住宅建設が2年以内に収まらなくてもよいので、計画が示されてから申込までの、考える時間がほしい
- ・ 被災者でペットを飼っている人もいるので、認めてほしい
- ・ 高齢者が多いので、2階建てでもエレベーターが必要である
- ・ 復興市営住宅に入居するかどうかは、被災地の土地をどうするのか方針が示されないと決められない

公園、広場、交流拠点、伝統文化、景観

- ・ 祭りやイベントができる広場や公園が欲しい
- ・ 花壇や緑のある空間がほしい

生活利便

- ・ スーパーや診療所、デイサービスなどを作ってほしい
- ・ 佐賀関支所や地域外へも移動しやすくなってほしい

復興計画の進め方

- ・ 意見交換会は、地域の人全員を集めて行ってほしい
- ・ 住民の考えを反映してほしい
- ・ なかなか将来は決められない
- ・ 土地が狭く、道路が無いので家を建てるのが難しい

< お問い合わせ先 >

1. 復興全般について	生活再建支援・復興本部	(097-547-7174)
2. 復興計画について	都市計画課	(097-537-5636)
3. 復興市営住宅について	住宅課	(097-537-5977)